

「第6次鹿沼市総合計画 ふるさとかぬま『絆』ビジョン 政策評価
(平成26年度分)」に係るパブリックコメントとその回答

	意見	回答
1	<p>1-4-(4) 図書館事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 蔵書の整備に関して、2012年度、2013年度、2014年度の資料費予算額、実績額を表示して、蔵書整備の判断にした方が良いのではないのでしょうか。 図書館業務システムの更新 正規雇用数(司書、司書率) 非正規雇用(非常勤・臨時、派遣)の数字を出したほうが、図書館の充実度が把握できます。市民の資料要求に応えるためには、司書の資格を持ったベテラン正規職員が必要と考えます。 蔵書がない資料に関して、他の市町村、県の図書館から融通をしてもらっています。他にもない場合、購入してもらえないケースがあります。購入の判断基準が不明確です。明確にした方が良いのではないのでしょうか。 	<p>・予算額、実績額、雇用数等については、政策評価の表示項目として検討します。</p> <p>・蔵書のない資料については、鹿沼市立図書館資料収集要綱をもとに処理しています。</p>
2	<p>1-5-(2) スポーツ環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿沼運動公園の利用者が平成19～平成22で減少しています。市街地より遠く、設備の老朽化が原因ではないのでしょうか。全天候型のトラック(土のグラウンドは今では珍しいです)への改修や、トイレを含む設備の改修が必要と思います。 「鹿沼運動公園の機能拡充」が南摩ダム建設事業の関係で遅延とありますが、どのような関係なのでしょう。関係はないと思いますが、いかがでしょうか。 	<p>・鹿沼運動公園の利用者数については、施設の修繕を行うなど、増加を図ります。</p> <p>・設備の老朽化については、優先順位の高いものから順次修繕を進めています。</p> <p>・「鹿沼運動公園の機能拡充」については、南摩ダムの集団移転地周辺の土地を利用する構想であり、ダム建設に関係することから遅延している状況です。</p>
3	<p>2-1-(4) 放射能汚染対策</p> <p>市内の放射能汚染データを公表もした方が、評価が分かりやすいのではないのでしょうか。</p>	<p>市ホームページにて放射性物質測定器による測定結果を公表しています。</p>
4	<p>2-1-(5) 水防対策</p> <p>9月に西武子川で洪水が発生しました。今回の被災地は、市の防災マップでは浸水可能性エリアにはなっていません。早急な見直しが必要です。</p>	<p>・防災マップについては平成27年3月に作成をし、配布しております。</p> <p>防災マップの中には、土砂災害警戒区域や浸水想定区域などが記載されており、危険な場所を周知しております。</p> <p>浸水想定区域は水防法により国や県が指定し、公表しているものを使用しております。</p> <p>防災マップは必要に応じて修正してまいります。</p>

	意見	回答
5	<p>3-2-(1) 多彩で力強い生産振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 他産業との連携と6次産業化支援とありますが、農、林、商工業、観光の連携が必要ではないでしょうか。基本目標5で観光が取り上げられていますが、農林商観の一体化したプロジェクトチームが必要だと思います。 堆肥化センターの利用促進に関しては、経営の実態（一般財源からの繰り入れ実績等）市民に明らかにして、市民の総意で改善していくことが必要だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 農林商観の連携については、より柔軟な連携体制の構築が必要と認識していますので、連携を強化します。 堆肥化センターについては、存続や経営改善に対して広く意見を求めるため、平成24年度に各関係者や有識者で組織する鹿沼市堆肥化センター改革検討会議が策定した「鹿沼市堆肥化センター改革に関する基本方針」に基づき経営改善に取り組んでいます。今後ともセンターの運営状況の情報発信や、市民の意見をお聞きしながら、さらに経営改善に努めていきます。
6	<p>3-3-(3) 森林資源の活用</p> <p>「木質バイオマスなどへ間伐材の利用策、民間との連携を検討」は、民間任せではなく、市が鹿沼市森林組合等と、連携し、市主導型で行うべきです。エネルギーの地産、地消原則に立った推進が必要です。鹿沼市の間伐材のみで運営できるレベルの木質バイオマス発電が必要と考えます。発電した電力は地域市民のために活用すべきです。</p>	<p>導入については、民間を主体とし、市は森林組合等と協力し、連携を進めます。</p>
7	<p>3-5-(1) 地元企業の持続的発展</p> <p>住宅リフォーム助成事業の推進は、助成額とその経済効果額を明示したほうが、政策評価が分かりやすいです。他の市町村は1.5倍から30倍になっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 助成額については、政策評価の表示項目として検討します。 経済効果額については、有効な算定方法の研究を課題とします。
8	<p>4-1-(2) 資源とエネルギーの活用</p> <p>国や、県のように、再生可能エネルギー比率を公表して、政策評価にした方が良いのではないのでしょうか。栃木県が取り組んでいる小水力発電プロジェクトと連携し鹿沼市でもプロジェクトを作り推進したほうが良いです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市町村ごとの再生可能エネルギー比率のデータは公表されていません。市内の再生可能エネルギー導入件数や設置容量について、政策評価の表示項目として検討します。 県の河川活用発電サポート事業と連携し、事業者の支援を行っています。
9	<p>4-2-(3) 公園緑地等の整備</p> <p>「街区公園の整備」は幸町街区公園が遅れ気味の表記ですが、住民の要望は、6月議会で場所も含めて明らかです。推進の方向がはっきりしていますので、平成28年度での予算化をすべきです。</p>	<p>方向性を検討し、調整を図ります。</p>

	意見	回答
10	<p>4-2-(5) 治水・雨水対策</p> <p>「水源地域・導水路地域の住環境整備」「水源地活性化の拠点施設などの整備」はダムの検証のため遅延とありますが、鹿沼市としての南摩ダム方針を、市民の意見を聞きながら、明確にすべきではないでしょうか。スポーツ環境でも述べましたが、はっきりしない、国、県の方針に振り回される必要はないと思います。</p>	<p>思川開発事業（南摩ダム）に対する本市の基本方針は、関係住民及び市が不利益を被ることのないよう対応することです。</p> <p>遅延している事業につきましては、ダム建設の「継続」か「中止」かによってその事業効果が大きく影響されることから、国が決定方針を決定するのを待っている状況です。</p> <p>今後ともダム検証の推移を注視して、地域の活性化に結び付けられるよう対応してまいります。</p>
11	<p>4-2-(9) 建築物耐震改修の促進</p> <p>簡易診断サポート、耐震診断補助、耐震改修補助の件数、金額の数値目標と実績があれば、表示したほうが、評価が分かりやすいです。件数が少ないように聞いています。周知方法の再検討が必要ではないでしょうか。</p>	<p>政策評価の表示項目として検討します。</p>